（参考）

手賀沼底質における深度別放射性物質調査結果について

平成２９年３月２２日
千葉県環境研究センター
電話 ０４３６－２１―６３７１

環境研究センターでは，東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故により拡散した放射性物質について，県内の閉鎖性水域を中心とする汚染実態等を把握することで，今後の放射性物質の移動・移行等に関する知見を得ることを目的に，平成25年3月から手賀沼底質における深度別放射性物質調査を行っています。

本年度の調査結果は次のとおりでした。

１ 調査概要

（１）調査時期　　平成28年8月3日（水）

（２）調査実施機関 環境研究センター

（３）調査地点　　手賀沼5地点（図１のとおり）

大堀川河口，大津川河口，根戸下，手賀大橋下流，手賀沼中央

（４）調査方法

底質について柱状採泥器により採泥（深さ約35cm）し2cm～5cmの層毎に分析

（５）調査項目 放射性物質濃度：放射性セシウム（セシウム134，セシウム137）

２ 調査結果概要

（１）底質の深度別放射性セシウム濃度(134 及び 137 の合計)について（図２）

各地点の底質中に含まれる放射性セシウム最大濃度は，前回調査（平成27年8月及び9月実施）に比べ，大堀川河口では約1割増加していたが，大津川河口では約7割濃度が低下していた。

底質の深度別における放射性セシウムの状況は，大津川河口で最大濃度の深度が前回（深度18～20cm）よりも浅い位置（深度0～2cm）に見られ，根戸下では前回（深度 0～2cm）よりも深い位置（深度 6～8cm）に最大濃度が見られた。それ以外の地点では，前回と比較して大きな変化は見られなかった。

（２）地点底質の放射性セシウム濃度(134 及び 137 の合計)及び最大値となった深度

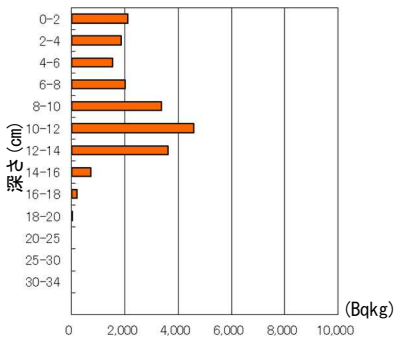
大堀川河口　　：不検出～4,580 Bq/kg(乾泥)（深度 10～12cm)
大津川河口　　：不検出～1,300 Bq/kg(乾泥)（深度 0～2cm)
根戸下　　：不検出～4,070 Bq/kg(乾泥)（深度 6～8cm)
手賀大橋下流　：不検出～　960 Bq/kg(乾泥)（深度 2～4cm)
手賀沼中央　　：不検出～1,100 Bq/kg(乾泥)（深度 0～2cm)

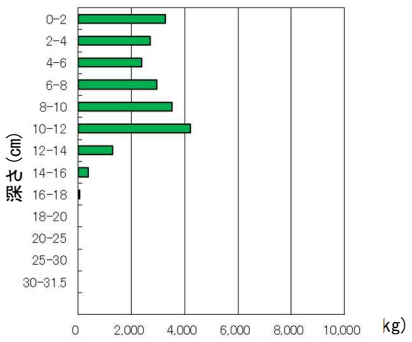
図１　調査地点

今回調査（平成 28 年 8 月）の結果

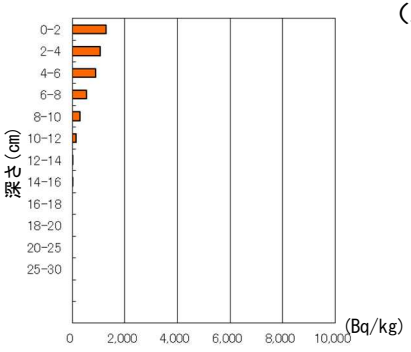
（参考）前回調査（平成 27 年 8・9 月）の結果

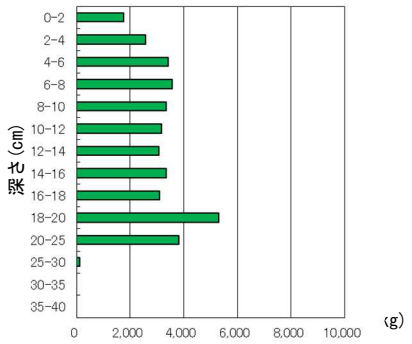
（1）大堀川河口



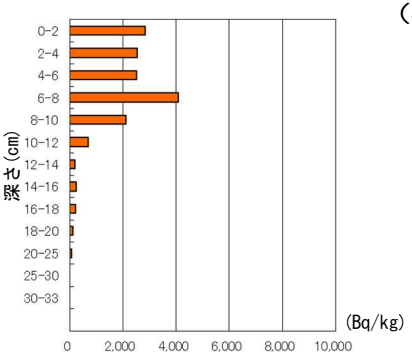


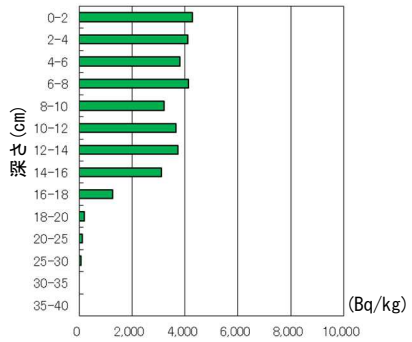
（2）大津川河口



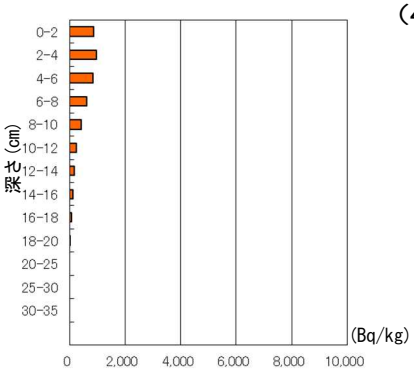


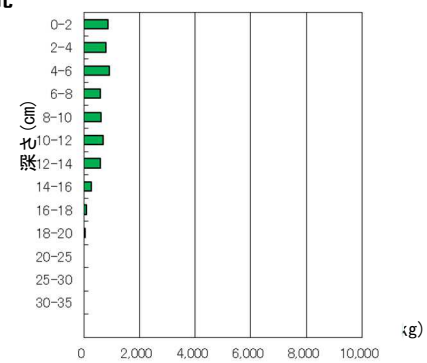
（3）根　戸　下



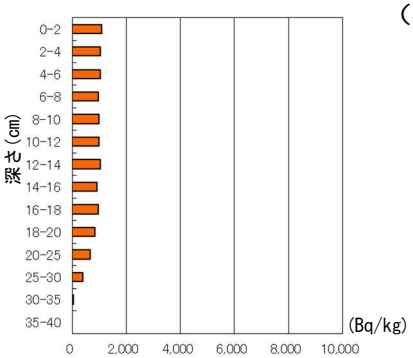


（4）手賀大橋下流





（5）手賀沼中央



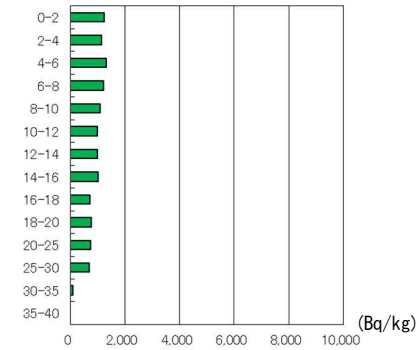


図２　手賀沼底質の深度別放射性セシウム（Cs-134+Cs137）濃度

（各地点複数採取した試料のうち最大濃度値を示した試料での深度別濃度）